

平成 28 年 12 月 1 日

WILLER TRAINS 株式会社

株式会社 umari capital

起業家を育成し丹鉄沿線の継続的な地方創生を目指す
丹鉄ビジネススクール第 2 期開講決定！



京都丹後鉄道(以下、丹鉄)を運行する WILLER TRAINS 株式会社 (<http://trains.willer.co.jp/> 代表取締役:小高直弘)は、株式会社 umari capital(代表取締役:古田秘馬)と協同し、鉄道事業を通じて地方創生を実現したいと考える起業家を支援する「丹鉄ビジネススクール」の第 2 期を 2017 年 1 月 21 日より開講することを決定しました。

2016 年 5 月～8 月に開講した第 1 期では、地域に根付いたビジネスを創出できる人材の育成を目的とした講義を行い、受講生からは数多くのアイデアが誕生しました。その中で、最も地域創生に寄与する、鉄道の新たな価値を見出したアイデアであった福原習作氏のアイデアを基にした「キッズ鉄カフェ in 宮津駅」と「鉄道おもちゃ列車」を実際のビジネスにおける実現性を検証するため、2016 年 11 月にトライアル企画として開催しました。両イベントともに 100 名を超える丹鉄沿線の子育て世代のご家族にご利用いただき、イベントを通じて鉄道は子育て支援という面からも地方創生に寄与することができるということを確認しました。

第 2 期からは、テーマごとに約 3 ヶ月間のクラスを開講します。1 月から開講する【【入門編】地域ビジネスアイデアクラス】では地域ビジネスの企画の作り方や、起業についての基礎知識の座学、丹鉄沿線の魅力や課題を再発見していただくためのフィールドワークなど全 6 回の講義の開催を予定しています。

さらに第 2 期においても、ビジネススクールから生まれた優秀なアイデアには投資型鉄道ファンドである「丹鉄ファンド」から投資を行います。アイデアを生み出せる人材の育成と、それに対する投資をつなぐ仕組みを構築し、丹鉄沿線地域の継続的な地方創生を促進します。雇用だけではなく、地域の方々や鉄道ファンの方たちの想いをビジネスとして起業できる機会を創出することで、継続的な地方創生を目指します。

【「丹鉄ビジネススクール」概要】

- ・ 開講スケジュール:

日程	タイトル・内容(予定)
◆ 第1回 2017年1月21日(土)	・オリエンテーション ・地域ビジネスの企画の作り方、地域ビジネスとは？
◆ 第2回 1月29日(日)	・各自が考える地域の課題や、アイデアの卵を発表 ・地域の声を聴く。地域のキーマンに学ぶ
◆ 第3回 2月4日(土)	・1Day フィールドワーク 丹後の駅、車両、駅周辺地域ビジネスを視察 ★丹後くろまつ号試乗を予定
◆ 第4回 2月11日(土)	・中間発表
◆ 第5回 2月18日(土)	・コミュニケーションとマーケティング
◆ 第6回 3月5日(日)	・最終発表

※各回の開講は、宮津駅内の会議室内にて 13～16 時を予定(第 3 回を除く)

※会場までの移動は、ご自身で手配・ご負担をお願いいたします。

※村瀬・古田は初回・中間発表・最終発表を担当予定です。

※受講料には、丹後くろまつ号への試乗など、第 3 回フィールドワークの費用も含まれます。

- ・ 募集人数: 25 名程度(応募者多数の場合は、選考により決定させていただきます)
- ・ 受講料: 一般 45,000 円/学割 20,000 円
- ・ 応募方法: Web サイト(<http://trains.willer.co.jp/news/business-school/>)にアクセスし、
エントリーシートに必要事項をご記入の上、お申込みください。
- ・ 応募締切: 2017 年 1 月 13 日(金)
- ・ 問い合わせ: 丹鉄ビジネススクール事務局(WILLER TRAINS 株式会社内)
tetsudo-bs@willer.co.jp (お問い合わせはメールをお願いいたします)
- ・ 備考: 参加希望者を対象に「事前無料セミナー」を開催します。
日時: 2017 年 1 月 10 日(火)19:30～21:00
場所: 丹鉄宮津駅 1 階 多目的ルーム
※予約不要・直接会場までお越しください。

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

WILLER ALLIANCE 株式会社 広報

担当: 本田 紗也香 E-mail: koho@willer.co.jp

TEL: 06-6123-7250 FAX: 06-6136-5887